

にしき丘

編集・発行 苫小牧高専 新聞局
発行責任者 大西 漠



有馬先生への インタビュー

Q. 出身はどこですか？
A. 出身は兵庫県で、大学は神奈川県です。

Q. 北国は初めてですか？
A. 住むのは初めてですね。私からすると雪がすごい多いなという感じですが、気温もマイナスいつてるのが普通ですし、10度下回ったら寒い、という世界で生きてきたのでここは毎日寒いです。

目次

一面	有馬先生へのインタビュー
二面	冬フェス
三面	冬季体育大会
四面	一年生へのインタビュー・五年生の進路

Q. 先生の専門は何ですか？
A. 一言で言うと非平衡熱力学っていう分野に当たりあます。数学と物理が関連したようなところですね。物理の問題を数学的なアプローチで解析していきましょう、ということです。

Q. 高専の印象はどのような感じですか？
A. 素直な子が多いような印象を受けました。距離感がやっぱり近い感じがしました。大学生と比べても、結構みんな距離感が近く、結構素直な反応を示してくれます。

Q. 学生に向けてメッセージをお願いします。

A. まずは、高専生活をしっかりと楽しんでくださいというのが一番ですね。楽しむというなかで、ただ友達との生活だけで無く、勉強も実は面白いこともあると思いますし、高専の先生は専門の知識の幅も広いと思いますので、ぜひいろんな先生と話してこれからの将来の道を少しずつ見つけていってほしいなと思います！
あとは、勉強をしっかりと頑張ってくださいというところですね！やることをちゃんとやっていけば後は自由にして良いと思うので。

冬フェス

各部活へのインタビュ―

◇ ポプソン

冬フェスでは高専祭で出ることが難しい低学年バンドを中心としてライブを行いました。低学年を中心になると転換に時間がかかったり、機材トラブルが起こるなどの失敗はありましたがいい経験になったと思います。最後は五年生がライブで盛り上げ、みんなで協力したいいいライブができました！次のライブでは進化したポプペラーソング部に期待してください！

◇ 鉄研

鉄道研究同好会では鉄道模型の展示と北海道にある全ての駅の看板の写真を立体地図上に配置した製作物の展示を行いました。冬フェスはお客さんの数が年々増加していると感じるので、更にお客さんにお越し頂けるような展示を考え来年も冬フェスに参加したいと思います。

◇ ダンス

五年生が最後のステージで、楽しく踊ってもらえて良かった。冬フェスからダンスを始めた一年生もステージに出て、楽しく踊っていたのでとても良い冬フェスでした。

◇ 書道部

書道部は冬フェスで三作品を披露しました。作品名は「龍翔」「躍進」「叶う」です。「叶う」は一年生のみで書き上げ、一年間で成長した一年生を見ることができました。見に来てくださった皆さんありがとうございました。

◇ 美術同好会

去年の美術同好会は、高専祭で展示されたイラスト、水彩画、アクリル画などが引き続き展示され、好評だった部員手作りのアクセサリー販売も同様に行われた。例年に比べ、お客さんが少ない中でも、描いた絵の感想を頂き、アクセサリーの売上も好調で、良い結果を残せた。来年度は今年度よりも参加者数を増やせるように呼びかけ、更に盛り上がるようにしたい。



冬季体育大会

今年度、一月十日に冬季体育大会を行った。新聞局で大会の結果をまとめたので、次に紹介する。

総合順位

今年の冬季体育大会の出場クラス二十六チームのうち、上位三位は次のクラスとなった。おめでとございます!!

- 一位：機械四年 (2618.1[pt])
- 二位：一年一組 (2350.0[pt])
- 三位：二年三組 (2050.0[pt])

各競技順位

各競技の順位の一部を次に紹介する。

バレーボール

- 一位：機械四年
- 二位：二年一組
- 三位：二年二組

綱引き (学科対抗)

- 一位：機械
- 二位：情報
- 三位：環境

卓球

- 一位：環境五年
- 二位：一年一組
- 三位：一年三組

優勝クラスの代表者より一言

今年度の冬季体育大会には前年度優勝クラスとして臨みました。2連覇がかかりプレッシャーもありましたが、楽しくプレーすることができました。4年生になり体力が落ちたのか辛い場面が多かったですが、クラスが一致団結し応援したことで優勝できました！来年は最後の体育大会となりますので3連覇目指して頑張ります。(M4 千葉)

バレーボール準優勝チームのインタビュ

バレーボール準優勝クラスである二年一組の出場選手にインタビュを行った。その応答を次に紹介する。

- ・練習について
朝早くから練習に励んだ。
- ・応援について
選手でなくとも応援が大事。
- ・本番について
相手チームに適応できるのが望ましい。



各系への一年生の印象

入学から一年間経過した一年生が各系へどのような印象を持っているのか調査した。一年生が各々志望する系にどのような期待を抱いているかを次に紹介する。

① 機械系

医療機器を作る仕事がしたいので、それが出来るような技術を学びたい。

② 環境系

父が土木・建築関係の仕事をしているので一緒にダムや橋などの公共物を作って人の役に立てるように基礎を学びたい。

③ 応用科学・生物系

マイクロプラスチック問題を解決したいので、新たなプラスチックを作るべく有機・分析・生化学を学びたい。

④ 電気電子・工学系

回路の仕組みについて興味があるので、その分野を深く学んでいきたい。

⑤ 情報科学・工学系

独学だと興味のある分野に知識などが偏ってしまいがちになるので広く基礎を学んでいきたい。

今年度卒業の

五年生の進路

学生課学生係に協力していただき、今年度卒業生の進路を調べた。

全体で見ると、四分の三程度が就職を希望、四分の一程度が進学を希望している。

就職に関しては、今年度も求人倍率が非常に高い数値である。また、就職内定率は、ほぼ100%である。就職先はほとんどが民間企業であり、環境都市工学科で一名の公務員への就職が内定している。

	就職希望者数	求人数	求人倍率	就職内定率	進学希望者	進学内定率
機械工学科	29	834	28.8	100.0	11	100.0
電気電子工学科	23	886	38.5	100.0	16	100.0
情報工学科	25	658	26.3	100.0	10	100.0
物質工学科	27	501	18.6	100.0	13	92.9
環境都市工学科	20	579	29.0	90.9	20	95.2

局員紹介

局長 3-3 大西 漠
局員 55 前田 豪太

A5 加藤 桃子

3-4 安沢 友花

3-5 手塚 健太

3-5 岩間 奨

2-2 草島 広佳

2-3 齋藤 珠奈

2-4 宮崎 洋輔

1-1 神保 涼介

1-2 島本 卓真

1-3 飯塚 遙稀

1-4 及川 瑠菜

1-5 大西 美月

顧問 赤塚 元軌 先生

編集後記

今年度もしき丘を発行するに至りました。ご協力いただきました学生や先生の皆さまには、この場を借りてお礼申し上げます。